



NO.1355

2月27日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三二四四五八
F 四三二四四五七

文教民生委員会

ごみ問題、政策提言提出に

市議会文教民生委員会（松浦敏司委員長）が22日に開かれ、所管事務調査で問題点が明らかになり、委員会として網走市に政策提言を提出することが決まりました。まさに、「市民の声を届ける議会の役割」を果たします。

延命を図るために

内容は、1つ目は「危機的状況にある一般廃棄物最終処分場の延命を図るために」です。

ごみ分別について改めて市民の理解と協力を得るための情報の発信や違反ごみを置いていく啓発手法の検討など8点です。



今後の検討にあたり

2つ目は「今後のごみ政策を広く検討するにあたり」です。

今回の問題の原因や背景の検証を速やかにを行い、市民と共有することや次期計画の基礎とすること。

市民の理解を得た上で

広域化についてはスピードや結論重視では市民の理解を得るのは困難であり、市単独のごみ処理の基本的な考え方を共有し、広域化の必要性が認識されてから検討に入ることなど6点です。

補正予算20億円

第2回臨時会

網走市議会第2回臨時会が2月21日に開かれ、総額20億4500万円の補正予算が各委員会審査され、その後、全会一致で可決されました。

昨年12月に国の補正予算が可決されたことによるもので、補正予算の約85%の17億3300万円（37事業）が来年度に繰り越し実施されます。

今年度に行なわれる事業は、新型コロナウイルス関連の抗原検査事業とバスなどの公共交通への助成金、排雪に伴う除雪費などになります。



松浦 奮戦モロ



私が委員長をしている文教民生委員会は、「ごみの埋立て問題」で、2月2日、9日、17日と連続して所管事務調査を行いました。なぜ、生ごみの分別が上手くいかないのか、埋立てごみに「生ごみや資源物」が3分の1も混入している原因は何かなど原因究明がなされました。また、明治最終処分場が開始された直後から施設の人員や機械類の不具合、さらに増築・改修などでも多額の費用がかかっていることも分かりました。

何よりも当初計画とはかけ離れた形で、埋立地が予定よりも2倍近いスピードで埋立てられていること、広域化の議論が始まっていることから、文教民生委員会の総意として市長に政策提言を行うことを決め、22日の委員会で内容を確認し、手続きを経て近く市長に提言を渡すことを決めました。いま、行政と議会、そして市民が力を合わせて問題解決のために努力しなければならぬと痛感しています。

村ちやんがける



先日、最終処分場の問題で40代の市民の方

から話を聞く機会がありました。小樽から転居、焼却ごみの無い網走の分別がわからない。黄色の袋に包装プラと生ごみと書いてあること。間違うと違反ごみとして置いていかれる。分からないから赤い袋に入れて出すと回収される。結果、黄色い袋は使わなくなり。協力する気も失せる、色を増やし分かりやすくして欲しいとのことでした。

ごみゼロを実現するためには、時間もかかるでしょう。市民の理解を得る努力を、もう一度しっかりしなければと思いました。

流氷

旅をすれば出会いがある。道の駅にはキャンプカーや車での男一人旅、犬や猫と一緒に。宮崎県青島で網走

のつくしヶ丘に住む人に偶然出会いビックリした。一人暮らしなので毎年此処で冬を過ごし桜前線と共に帰ると言う。▼佐賀県の城趾で出会った人に「安くて旨いチャンポン麺の店が近くにあるので食べませんか」と、声を掛けられる。神戸の人で妻を亡くして一人旅をしている、家に帰っても寂しくて「男と云うものは弱いもんです、立ち直る迄に3年もかかりました」今は旅が癒しになり「イヤ」笑える様になり旅が心の支えです。又何処かでお会い出来たらいいですねー」と別れた。▼作家の津村節子さんのエッセイ（遍路みち）で、夫（作家の吉村昭氏）が亡くなって本が書けなくなり、心の整理、心の空洞を埋めるのに3年の時間がかかったと書いていた。話しをしたりケンをかける相手がいらないその寂しさは、長く一緒に生活し空気のような存在でもかけがいの無いもの、それは失って知るものなのだろう。私に先立たれた妻の場合はどうだろうか。夫から解放されて自由に楽しく夫よりも遅く前向きに生きるのではないか。夜一人自問自答するも、疲れていて直ぐに爆睡した。ーつづくー

アスリート爺